

3.6 その他落石防護柵等

3.6.1 部材（柵、網など）の変状

<着目すべき変状>

- ・部材の腐食
- ・部材の欠損、破損

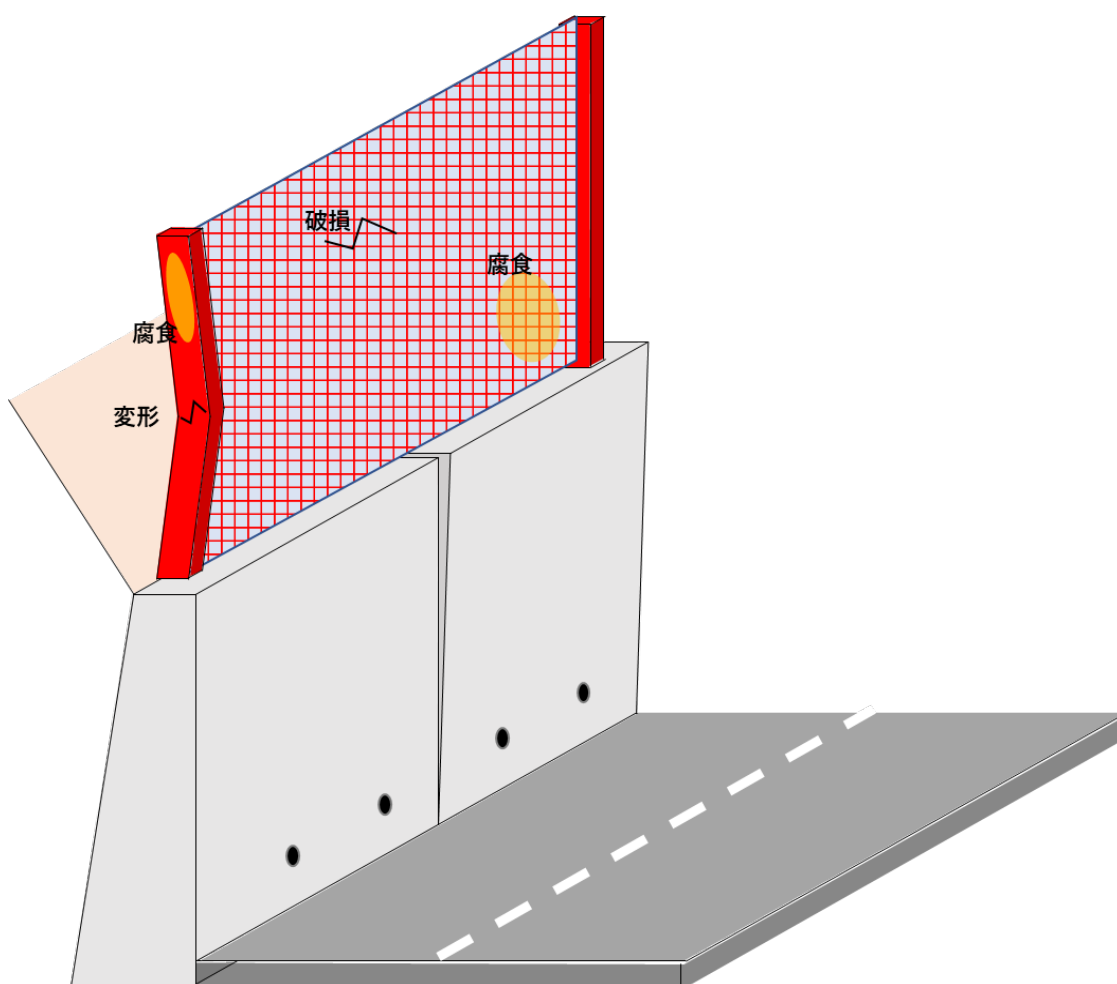


図3-6-1 落石防護柵等 — 部材（柵、網 等）の変状の例



写真番号 1

説明
ポケット支柱に錆が見られる。



写真番号 2

説明
落石防護網の上部ロープの腐食が認められる。



写真番号 3

説明
ポケット支柱に錆が見られる



写真番号 4

説明
リングネットの台座アンカーに錆が見られる。



写真番号 5

説明
金網の上部が一部はずれている。



写真番号 6

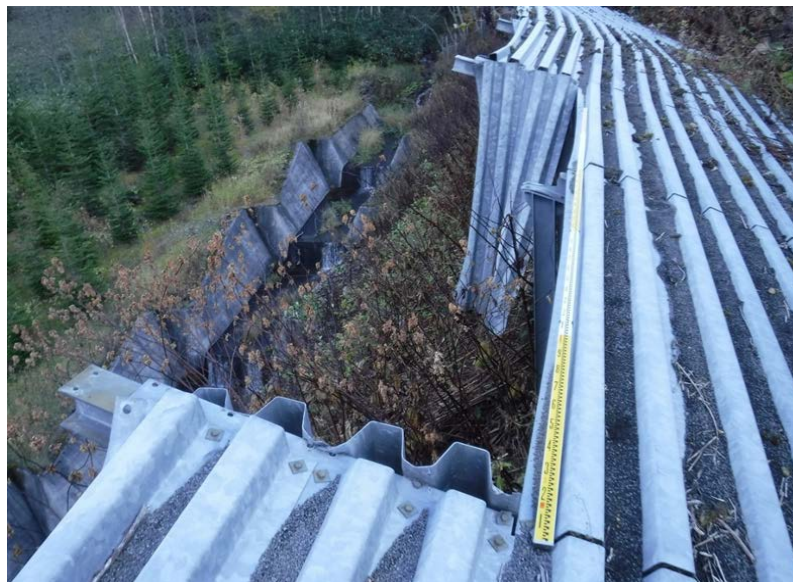
説明
索端金具の外側ナットに緩みが見られる。



写真番号 7

説明

ナットの緩みがある。



写真番号 8

説明

吹上防止柵パネルが損傷している。



写真番号 9

説明

バーの最上段に変形が見られる。



写真番号 10

説明
 柵の上に乗るベースプレートが大きく変形し、斜材も断裂している箇所がある。



写真番号 11

説明
 落石防護柵の支柱に腐食による断面欠損が見られる。



写真番号 12

説明
 落石防護網の支柱基礎が道路方向に傾き、アンカーの鉄筋が抜け出している。土砂に押し出される形で前方に変位している可能性が高い。



写真番号 13

説明
落石防護柵（支柱基部）に断面欠損が見られる。



写真番号 14

説明
落石防護柵支柱の腐食が見られる。



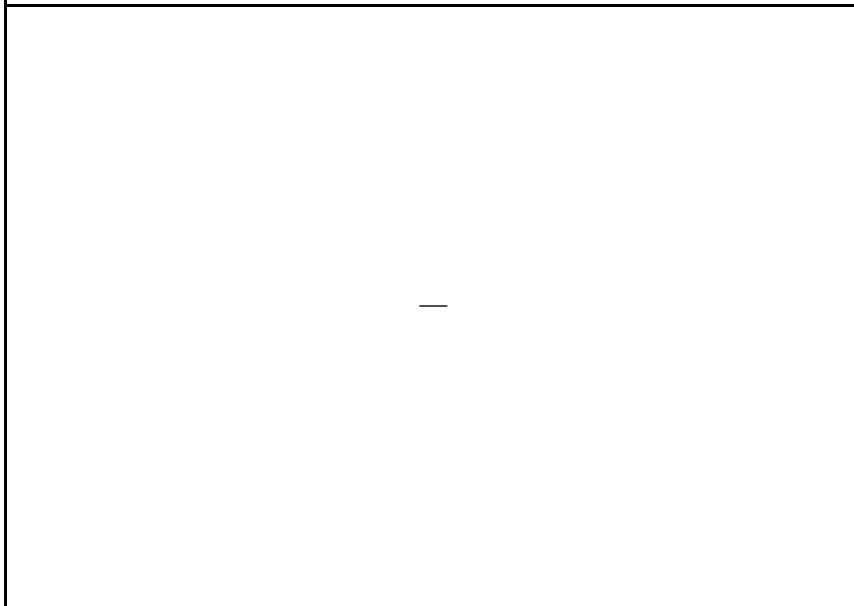
写真番号 15

説明
ロックネットが老朽化しており、破損している箇所が多くある。



写真番号 16

説明
雪崩防止柵工に変形等は認められないが、支柱や主柱等に老朽化(錆)に伴う腐食が進行している。



写真番号 —

説明

—



写真番号 —

説明

—

3.6.2 基礎部の変状

<着目すべき変状>

- ・部材の欠損、破損
- ・基礎のひび割れ（量、段差、方向、範囲）
- ・目地の開き
- ・はらみだし
- ・コンクリートの劣化
- ・剥離、剥落

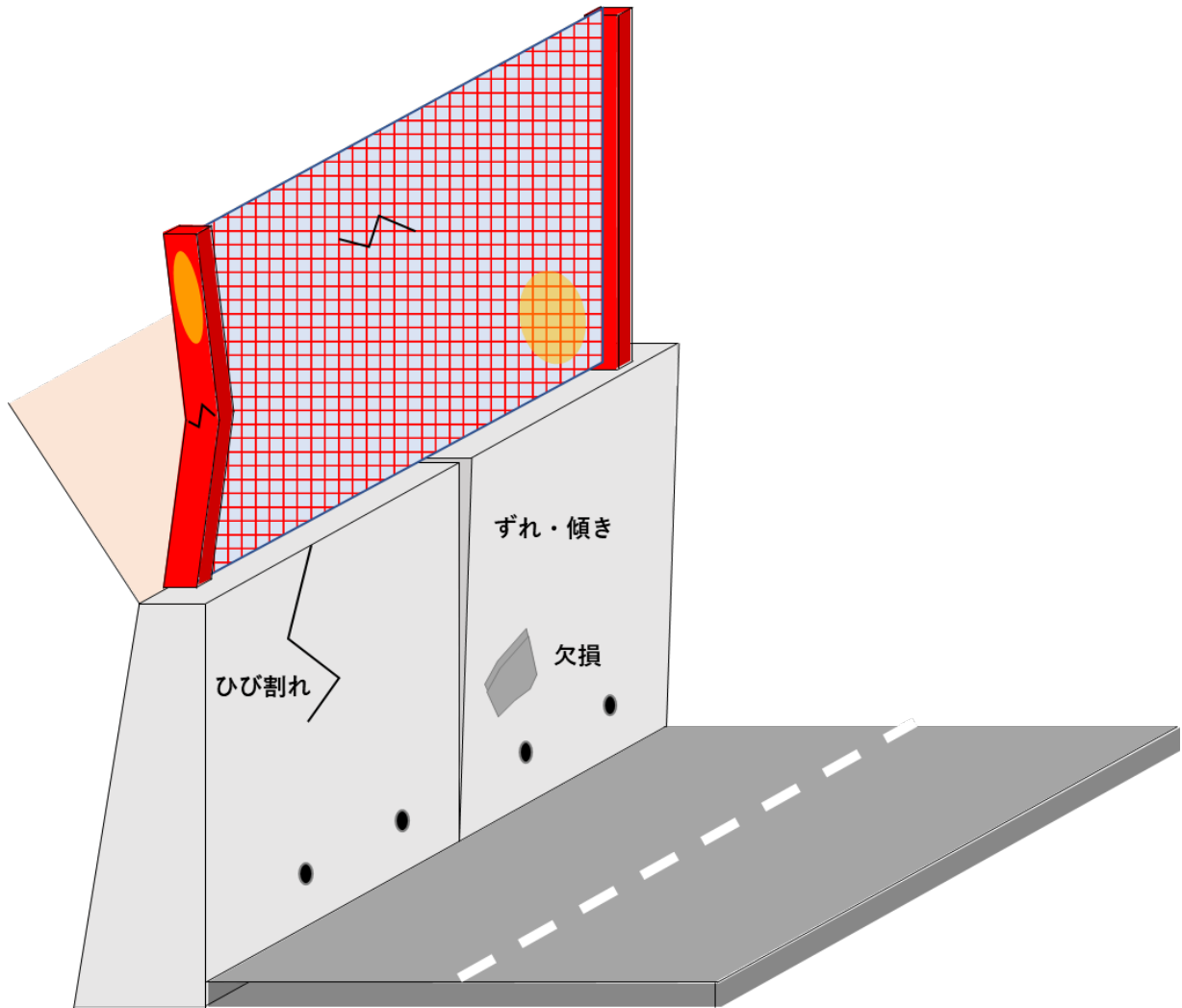


図3-6-2 落石防護柵等 — 基礎部の変状の例



写真番号 1

説明
擁壁継目に段差及び開きが確認される。



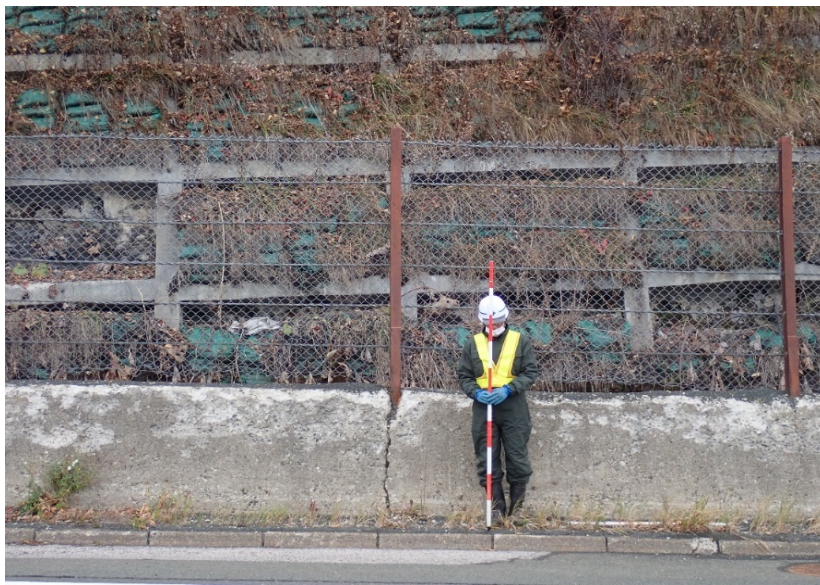
写真番号 2

説明
擁壁の表面の一部が剥離している。



写真番号 3

説明
擁壁上部が欠損している。
計測値：1100mm×400mm



写真番号 4

説明
中間支柱付近の擁壁に亀裂が見られる。



写真番号 5

説明
落石防護柵の基礎擁壁に亀裂が見られる。



写真番号 6

説明
中間支柱付近の擁壁に亀裂が生じている。
L=0.9m
W=1.0cm



写真番号 7

説明
 落石防護柵の支柱基礎が浸食され浮いている。
 支柱側の鋼材と下部Coが剥がれ、Co下部は浸食により鉄筋が露出する。



写真番号 8

説明
 擁壁に亀裂が生じている。



写真番号 9

説明
 写真9の近景

3.6.3 背面状況、対象岩体・土砂の状況

<着目すべき変状>

- ・剥離、剥落
- ・背面の状態
- ・対象岩体の状態

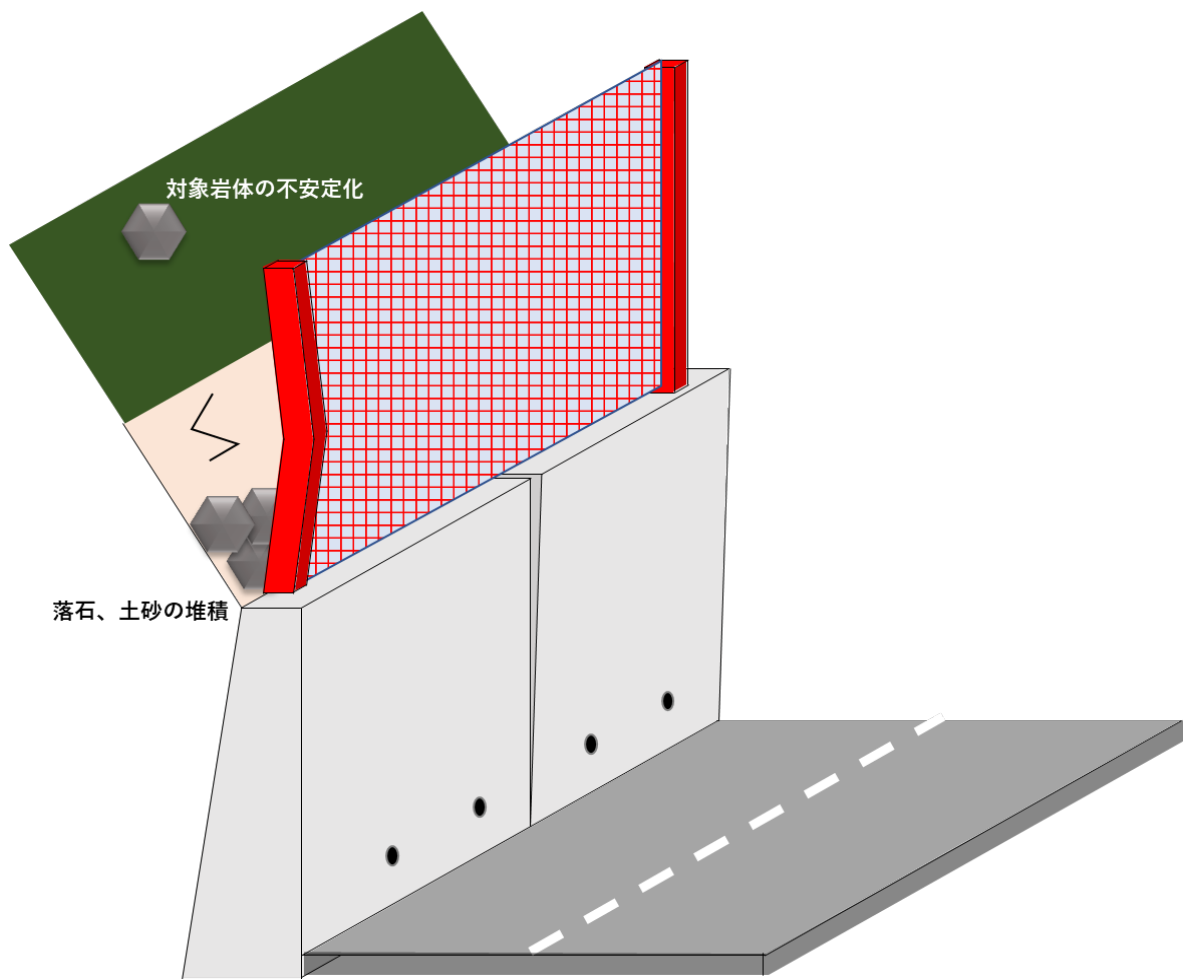


図3-6-3 落石防護柵等 — 背面状況、対象岩体・土砂の状況の例



写真番号 1

説明
落石防護柵背面に高さ1m程度の崩壊土砂が堆積する。



写真番号 2

説明
吹付凸部で生じた剥離。露出した地山岩盤は概ね新鮮で、周辺吹付は地山とよく密着している。ただし、吹付・地山間にラス網はなく、吹付厚も4cm程度と薄い。



写真番号 3

説明
落石防護柵背面に岩塊が堆積している。



写真番号 4

説明
 のり高10mの露岩斜面から最大
 1.0×1.0×0.3mの落石が認め
 られる。ポケット容量が減少
 した場合には、適宜、落石・
 崩土の除去が必要。



写真番号 5

説明
 谷地形出口付近、落石防護網
 の角部に露岩および浮石、転
 石が分布する。松等、植生の
 成長に伴う不安定化が懸念さ
 れる。



写真番号 6

説明
 雪崩予防柵下斜面の崩壊
 L=7.0m H=5.0m D=0.8mの崩
 壊あり。



写真番号 7

説明
落石防護柵工背後にはφ30～50cmの比較的新しい落石が堆積。



写真番号 8

説明
下部が平坦で、側部(写真左側)がやや埋没するため、現状はやや安定した状況ながら、背後開口部で木の成長みられ不安定化の進行が懸念される。

写真番号 —

説明
—